

日本学術会議 健康・生活科学委員会
パブリックヘルス科学分科会（第26期・第5回）議事録

日 時：2025年2月19日（水）19:30－20:05

場 所：オンライン会議

参加者：秋葉、磯、川上、久保庭、後藤、小林、田淵、中村、野口、野原、橋本、森、玉腰

改定された提言「国民の健康維持・増進に資する機能性食品に係わる制度に関する提案」（案）
に関する意見交換

- ① パブリックヘルス科学分科会として、現状の提言には名前を連ねることはできない
 - 人を対象としたエビデンスの記述が不十分なまま、機能性食品を推奨することが前提となっている
 - 各分科会は専門的見地から関わるべきであり、パブリックヘルス科学分科会の専門的見地からの意見が十分に反映されていない。現状の提言にパブリックヘルス科学分科会が賛同することは、国民に誤解を与えるおそれがある
 - 国際的な比較等を含め、科学的に必要な論議が十分に尽くされていない
- ② 学術会議として、十分な議論を行ったうえで、発出すべきである
 - この分野で提言を発出するのであれば、広く政策学系、法学系、公衆衛生学系も入って議論を行い、十分に内容を練る必要がある
 - 関係者に利益相反がないかどうか、意思を発出する前に十分に確認し、明示する必要がある

上記②に示す観点から、学術会議担当者、ならびに食の安全分科会宛、回答することとした。